

# ハンガリーのかるた会と『百人一首』の初期の翻訳

カーロイ・オルシヨヤ  
同志社女子大学研究生  
伊藤科研第14回研究会「海外における平安文学」  
2020年9月4日

## 1.1 ハンガリーのかるた会の過去と現状

### 第一期

場所：ブダペスト法門仏教大学

活動開始：2013年2月

人数：～15人

特徴：大学生中心

### 第二期

場所：ELTE大学

活動開始：2016年9月

人数：～15人

特徴：年齢が多岐にわたる

## 1.2 ハンガリーのかるた会の活動

- 定期的な練習会
- 大会（国内、国外）
- ハンガリー国内にかるた普及活動（日本文化イベント、見学会など）





## 2.1 『百人一首』（歌）のハンガリー語訳史

1906年	Baráthosi-Balogh Benedek (4首)
1920年	Bardócz Árpád (8首)
1923年から	Kosztolányi Dezső (21首)
1924	Barna János (11首)
1988年	Rácz István (4首)
2001年	Szántai Zsolt (全訳)
2014年	大阪大学ハンガリー語専攻 (全訳)
2014年	Fittler Áron (20首)

この中、部分的な訳はフィットレル氏の訳以外重訳であり、日本語ではなく、ドイツ語やフランス語などから訳されている。全訳でも、日本語の現代語訳などを基にされており、現在まで『百人一首』の研究成果を踏まえたハンガリー語全訳は作成されていないと言える。それに対し、英訳が1865年から多く出版されており、程度の相違があるものの、日本の研究成果を参考にしているものも見られる。

## 2.2 大阪大学ハンガリー語専攻訳の紹介

タイトル : Százszorszép japán versek

タイトルが工夫されている訳である。「Százszorszép」は雛菊であるが、文字通りの意味は「百回綺麗」であり、これを百人一首の「百」に掛けている。

アクセス<https://issuu.com/oszakamagyarszak/docs/szazszorszepversek>